

巡回拠点なでしこ

かがやき つうしん

北区立なでしこ小学校校長 戸倉 務
巡回拠点なでしこ 巡回指導教員
令和6年12月1日発行 第8号
なでしこ小職員室：3901-2601
巡回拠点なでしこ直通：3901-2622



今年も早いもので、残すところ1ヶ月あまりとなりました。朝晩の寒さも日に日に増してきています。健康に気を付けて、冬休みまで毎日元気に過ごしてほしいと思います。

子供たちは、特別支援教室での学習に毎回意欲的に取り組んでいます。12月は、4月からの振り返りを行い、できるようになったことを一緒に喜び、3月までの目標を新たに話し合う機会にしたいと思います。

今年1年、巡回拠点なでしこの指導にご理解ご協力をいただきありがとうございました。

★今後の予定★

2学期	
12月保護者面談期間	12月11日(水)～24日(火)
冬休み前指導終了	12月17日(火)
冬休み後指導開始	1月9日(木)
3月保護者面談期間	3月6日(木)～19(水)
2学期指導終了	3月12日(水)



※予定は変更することもございますので、毎月のおたより等でご確認をお願いいたします。

★12月保護者面談のお知らせ★

日頃より保護者の皆様には、ご理解とご協力を賜り感謝しております。指導・支援についてさらなる共通理解を図るために、保護者の皆様との個別面談を下記の期間に予定しております。

面談期間：12月11日(水)～24日(火)

保護者面談希望日調査票のご提出ありがとうございました。面談の日程については、各担当より連絡ファイルでお知らせしております。お問い合わせなどございましたら、下記までご連絡ください。

なでしこ小学校 巡回拠点なでしこ 直通：03-3901-2622

面談内容

- ・2学期の指導計画の目標について
- ・お子様の特別支援教室での様子
- ・在籍学級での様子 など

その他

- ・上履きをご持参ください。
- ・自転車でのご来校の際は決められた場所に駐輪してください。



今月のテーマ：感覚過敏と感覚鈍麻（かんかくどんま）について

感覚の困りごとについて、理由が分からずに自分を責めてしまう子供や悩んでいる保護者の方が多いです。そこで、6月号に引き続き「感覚」に関するテーマを取り上げます。

Q. 感覚が「過敏」、感覚が「鈍麻（どんま）」。それってどういうこと？

A. 感覚過敏はわずかな刺激に反応し、感覚鈍麻は刺激を感じ取りにくい特徴があります。

「僕は給食が食べられない。」

給食を楽しみにしている子供が多い一方で、感覚過敏があると、食べ物のニオイや味、食感は過剰な刺激となり、苦痛が生じる子供もいます。気持ち悪くなったり頭痛がしたりと、体調不良になってしまうこともあります。



「今すぐトイレに行きたい！いつもギリギリな理由」

感覚鈍麻の困りごとには、内臓感覚の鈍麻もあります。トイレに行きたいという感覚、すなわち尿意や便意です。私たちの体は、一定の間隔で代謝物や同廃物を体外に排出する必要があります。そのタイミングは尿意や便意といった信号として脳が感知しますが、この信号をキャッチしづらいと、尿や便がたまってもトイレに行きたい気持ちが起こらず、トイレに間に合わなかったり、具合が悪くなったりすることがあります。



「第一歩は多くの人を知ること！」

上記のケースはほんの一例で、他にも感覚が原因による困りごとは多くあります。「感覚」は外からは見えないので、「変わった人だな」、「わがままなのかな」と誤解されてしまうことがあります。しかし、顔かたちや能力に個性があるように、感覚も一人ひとり違います。感覚に特性がある人も、その周りの人も「こんなふうを感じる人がいる」、「決しておかしいことではない」と知ることが第一歩です。

参考文献：参考文献 『カビンくんとドンマちゃん』加藤 路瑛 ワニブックス

